

第96回一般質問一覧表

5. 6. 22

順位	氏 名	大 項 目	小 項 目 (要 旨)	答 弁
1	東野敏弘	西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画(案)について	(1)地区別住民説明会の状況を問う。 市内8地区での住民説明会が行われたが、開催状況と出された主な意見を聞く。 また、市内8地区で行われたが、保護者の意見を聞くというのであれば、小学校校区すべてで説明会を開催する必要があると考える。双葉小学校区、桜丘小学校区では行わないのか。	答弁 部長
	(2)中学校3拠点化に伴う統合案(西脇東中学校・黒田庄中学校)において、西脇東中学校になった理由を詳しく聞く。 推進計画案では、「比延地区と黒田庄地区の子どもたちの人口重心地により近い西脇東中学校を活用し」とあり、議員協議会での説明も同じであったが、住民説明会では別の理由を挙げられている。住民が納得する明確な理由を問う。			
	(3)令和4年度第3回西脇市総合教育会議での検討内容について問う。 ○冬季における放課後活動への影響―日照時間との関係 ○部活動の地域連携―学校間の距離、体育施設・文化施設との距離に関して ○既存学校施設改修等見込概要―黒中2億円～2億5,000万円、東中1億5,000万円～2億円の積算根拠を聞く。 ○通学にJR加古川線の利用することについての考え		市長 教育長 部長	
	(4)西脇市の今後の教育の在り方・方向性について問う。 推進計画案では、西脇市の今後の教育の在り方・方向性が十分示されていないように受け取られる。第3回西脇市総合教育会議でも、教育長はそのような発言をされている。本来、西脇市の教育の進むべき方向性を示す必要がある。教育長の考えを聞く。		教育長	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(5)「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画(案)」は、西脇市と西脇市教育委員会との連名になっていないのは、なぜか</p> <p>推進計画の実行には、財源の裏付けがある財政計画が必要である。そのため、西脇市と西脇市教育委員会との連名にすべきと考えるが、西脇市教育委員会だけになっている理由を聞く。</p>	市長 教育長
			<p>(6)「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画(案)」によると、令和20年には市内の中学校は2拠点化の方向性が示されている。当面、西脇東中学校と黒田庄中学校は緩やかな統合を行い、将来的に2拠点化を目指す考えはないかを問う。</p> <p>推進計画(案)によると、令和20年には西脇南中学校と新設される西脇中学校・西脇東中学校・黒田庄中学校の2拠点化になるとのことであるが、当面、西脇東中学校と黒田庄中学校は現状の校舎をそれぞれ活用し、オンライン授業やバス移動による合同授業、合同体育祭等の緩やかな統合を行い、将来的に2拠点化を目指すべきだと考えるが、市行政、市教育委員会の考えを聞く。</p>	
2	森脇久夫	テレビ共聴組合について	<p>(1)テレビ共聴組合の現状認識について 市内にあるテレビ共聴組合が、どのような状況にあるのか、その認識を問う。</p> <p>(2)設備の老朽化と技術発展による課題について 地デジ化など放送技術の進展と現状設備における課題と対応方針を問う。</p> <p>(3)今後の西脇市の対応について 課題への対応について市長の考えは。</p>	<p>部長</p> <p>市長</p>

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
		西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画(案)について	(1)計画案策定までの経緯について 計画案策定のプロセスおよび西脇東中学校と黒田庄中学校の統合校決定の根拠、人口重心について問う。	教育長 部長
			(2)総合教育会議での中学校統合に対する意見について 第3回総合教育会議において市長は、会議資料2の網掛けの数と「その他」を理由に統合校に西脇東中学校を推すとの意見表明をされたが、網掛け数の変化について、また「その他」の理由について問う。	市長
			(3)計画決定までの取組について 説明会で出されたご意見、また実施中のパブリックコメントで寄せられたご意見は、まだまとまっていないと思うが、それらの扱いも含め、説明会を終えた現時点における今後の対応について問う。	部長
			(4)計画決定について 統廃合によって生じる地域課題は様々で市長部局の役割も大きい。また、計画推進には市長部局による教育委員会への支援が不可欠と考えるが、市長の考えを問う。	市長
			(5)計画決定に向けての思いを問う。	教育長
3	高瀬 洋	マイナンバーカードの活用について	(1)コンビニでの各種証明書発行不具合テスト結果について 西脇市ではこのような不具合は発生していないとの説明を受けているが、国の指示で行った5月末～6月初旬のテスト結果を問う。 (2)他人の個人情報が紐付いてしまう不具合について 証明書発行の不具合以外に他人の個人情報が紐付いてしまう不具合も全国では発生しているが、西脇市で発生する可能性はあるのか。 (3)マイナンバーカードの交付状況について 直近のマイナンバーカードの交付状況を問う。	教育長 部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(4)マイナンバーカード活用にも積極的な取組を 既にマイナンバーカードの健康保険証利用が本格運用されているが、これに対する西脇市の利用状況について聞く。	部長
			(5)今後のマイナンバーカードの活用範囲の増大について 市長の今後のマイナンバーカード活用範囲の増大についての思いを聞く。	市長
		今後の業務のシステム化に関しての対応について	(1)業務パッケージソフトの導入の際の対応について 業務パッケージソフトと実際の市の業務の流れに差違がある場合、どのように対応しているのか。	部長
			(2)基幹業務以外のシステムへの対応は 基幹業務以外の例えば、図書館システムや施設予約システムなどはどのようにしていますか。	
			(3)RPAの活用についての対応の方向性は パッケージソフト導入時に、追加で欲しい機能をRPAで補うとか、システム運用後に、必要となった機能をパッケージの改修を最小限に止めて、不足分をRPAで補うといった対応も今後は必要ではないか。	
4	藤原桂造	市内における獣害対策(鹿柵)	(1)現時点で柵を講じられている地域(設置状況を聞く。)	部長
			(2)-1 状況によって個人農家への助成はあってもいいのではないか。 地域事情によって、取付け総延長距離がはるかに長い地域は財政面からも非常に厳しい。	
			(2)-2 県内において助成制度を行っている自治体はあるのか。	
			(3)動物が絡んだ交通事故の事例は市内において、年間どれほどあるのか。	
			(4)鹿対策として柵以外の策はあるのか。(対策)	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
5	杉本佳隆	人口増加の取組と地域の活性化に向けて	(1)本市におけるコンパクトシティの取組について ①コンパクトシティのメリット・デメリット ②今後の取組 ③区域区分の見直しとの両立 コンパクトシティの取組と今後の調整区域の見直しは相反しないのか。どちらも成り立っていくのか。 ④コンパクトシティの目標達成 何をもってコンパクトシティは成功と言えるのか。	部長
			(2)若手労働者の定着、正社員化への雇用対策について ①若者の定着・正社員化の支援 奨学金返還支援の活用拡大や正社員化への企業助成 ②人のつながりによる定着・呼び込みの取組 ファッション都市構想の取組・ノウハウを活かした支援について	
			(3)企業誘致と住みやすい環境の整備 ①市民の雇用につながる企業誘致 区域区分の見直しが進む中での取組 ②ベッドタウン化の考えと支援策 ③道路整備の方針 国道 175号バイパスから日野地区へのトンネル道路整備による日野地区の活性化、市全体の活性化	
			(4)人口維持・増加に向けた市の方針 ソフト面の施策ではなく、都市構造やハード面からの施策により、人口維持や増加に向けた考え、市長の思いを聞く。	市長
6	村岡栄紀	質の高い教育は「探究心」を育てることから	(1)本市における小・中学校の探究学習は「総合的な学習の時間」において横断的、総合的に進められていると聞くが、具体的にどういったカリキュラムに基づいて、どのように進めているのか。	部長
			(2)小・中学校の探究学習において、非認知能力等の目に見えない力の学習到達状況を知るための評価指標はあるのか。	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(3)2022年度から高校において「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」に変わり、大学入試制度等も大きく変わっていくことに対して、本市としてどのように受け止めているのか。	答弁 部長
			(4)小・中・高の学校教育とその先の大学での学び、社会での生き方まで「探究」を縦軸としてつながっており、小・中学校の「総合的な学習の時間」は高校の探究学習の準備段階に位置づけられる非常に重要なものだと考えるが。	
			(5)2002年から2011年にかけて行われた「ゆとり教育」について、市としてどういった評価をしているのか。	
			(6)横断的・総合的な学習の時間として、小学校3年生以上に「総合的な学習の時間」が創設されたのが、ゆとり教育からであるが、「ゆとり教育」と「探究」の関連性を市としてどのように捉えているのか。	
			(7)これまで必要とされてきた「1を100にする力」がAIにとって代われ、今ある仕事の約半数がなくなると言われている超スマート社会の中で、「0を1にする力」「課題を見つけて解決する力」が必要不可欠となり、それを身に着けるためには「探究学習」の推進が最重要課題だと考えるが。	
			(8)これまでの教科学習を中心とした「教科進行型学習」に対して、探究学習は「課題解決型学習」と呼ばれているが、教科学習から得た知識を探究学習の時間で能動的に活用していく、そういった互いの連携についての市の考え方は。	
			(9)「総合的な学習の時間」の課題として、指導者が忙しく、十分な時間が取れないため、満足のいく内容の授業ができていないと聞くが、本市の現状は。	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(10)「総合的な学習の時間」は各学校の裁量に任されているため、学校・教員の違いによる効果の幅が大き過ぎると言われているが、本市の現状は。(学校間や他市とのクオリティの比較等)	部長
			(11)社会で活躍する子どもを育てるために、教育を学校だけでやるのではなく、「探究学習」を通じて、学校・家庭・地域・企業等が連携し協働することが今後必要不可欠になると考えるが。	
			(12)子どもが夢中になって学ぶ「探究心」をしっかりと育てることを推進し、確立していくことが、本市が市長就任以来大目標としている、全国トップレベルの学力を実現する礎になると考えるが。	教育長
			(13)教育現場が明治以来の大転換期を迎えようとする中、新たな時代を見据えて、これまでの学校教育で学んだ知識や既存の常識を捨て去るとともに、根本から問い直し、その上で探究学習を核とした、新たな学校教育に取り組むことを市の最重点課題とするべきだと考えるが。	教育長
7	浅田康子	女性活躍の推進	(1)子育て中のママたちとの懇談の中で、複数の子供を持つには、子育てに対する夫の理解と協力が必要不可欠であるとの意見があった。今年度の取組は。 (男性向けのセミナーなどの現状と今後の展開は。)	部長
			(2)男性の育児休業が取りやすく、便利に利用できるように法が改正された。西脇市役所の現状と事業所に対する取組は。 ①西脇市役所の男性職員の育児休暇の取得状況は。	
			②市内事業所に対する多様な働き方に係る啓発などの取組状況は。	
			(3)「女性版骨太の方針」が国で示された。女性登用につながる企業への啓発について問う。 (企業を対象としたアンケート調査の結果と企業への啓発について。)	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(4)ミモザ企業認定制度の推進について ①認定制度の説明会の開催等、制度の推進に向けどのように進めていくのか。 ②企業の認定に向けて講師派遣の実施は。	
			(5)女性版骨太方針の中で、女性活躍と経済成長の好環境の実現に向けてと示されているが、西脇市ではどのような取組が考えられるのか。 (男性リーダーの会に入会し、交流で得られた情報から西脇に活かせることは。)	市長
			(6)女性活躍の柱となる市長の思いを問う。	

※上記一覧表の網かけ箇所と藤原哲也議員、村井議員、坂部議員、高瀬弘行議員、寺北議員の一般質問は、7月13日・木曜日に開催します。